公民館報 こすど

発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集兼発行人 矢部藤三郎

心がもとの新生活運動

中学校長　坂井冨三郎

◇…この講演要旨は去月新津市公会堂で開催された二市中蒲
◇…社会教育振興大会に於ける全国公民館連絡協議会長龍野
◇…定一先生の二時間半に渉るお話の要旨を、坂井中学校長
◇…先生が、うまくまとめて下さったものであります。

社会教育は心を作る事である

社会教育は戦後始まったように考える人がありますが、そうでない。

わが国では旧幕時代にすでに陽明学とか心学とかの学者先生、神官、僧侶などは庶民大衆の中へはいって、その心を耕す事に努力しました。百姓の事でも「下農は雑草を作り、中農は作物を作り上農は土を作り、上上農(精農)は土と心を作る。」と言われています。その精農の心こそ社会教育の精神であります。

社会教育さえ立派にできれば学校教育も新生活運動も公明選挙も、たちどころにできるのです。明治政府は封建制を打破すべく立ったのであるが残念ながらその指導者に正しい国を作らうとするより、強い国を作ろうとする気持が強かった。心より物を…という考えが富国強兵主義になって、とう〳〵悲惨な結果になった。

明治天皇には五ケ条の御誓文によって、大いに民主政治を布こうというお心があったが、社会教育がよく行われなかった為に、国民の民主化ができずにしまいました。今日、日本の学校教育は世界的水準にまで達していますが、大人の教育は忘れられています。

そこで現在、国を背負っている大人に、正しい民主的な在り方を知ってもらう事が先決問題であります。

中学卒業者はどこへ行く

卒業者見込　内定の者
男 一三六名　男四八名　女四五名
女 一三五名
計 二七一名　未就職者 男五名(補導所関係)
進学希望者　女三名(理容学校未職一名)
男 五三名
女 三二名　三月五日現在
家事従事者　府県別決定者内訳
男 三〇名　東京都二三名　愛知県三名　埼玉県三名　長野県一名　群馬県一名　三重県一名　神奈川県四名　福井県一名　小須戸町二三名
女 五五名
他人に雇用される希望者
男 五三名
女 四八名
就職の決定又は残念ながらその指導者に

力の用い方を誤るな

人間は腕力、権力、知力、組織力といろ〳〵な力を持っています。ところが今の社会では之らの力が誠に不合理に使われているのです。

国権の最高機関である国会でさえ暴力が用いられている有様であります。話合いが民主政治の根本であると言われておりながら、話合いを棚上げにして権力、腕力、組織力が不当に使われているのです。それに陳情政治が盛んに横行して、陳情によらないと何事も通らないというのも、主客顛倒の新封建政治であります。

戦後、民主憲法の制定によって「主権在民」となったのですから、我々一人々々が主権者であるという強い自覚と責任を持たなければなりません。

そうして政府から、やれ公明選挙、それ新生活運動のと号令をかけられないでも、立派な国作り、町作りの為に進んでやるだけの熱意を持たなければなりません。

日本の国の本当の在り方は、強い国を作るよりも、正しい国を作る事であると考えます。

◇　◇

青年団活動研究会を省みて

何かは運動と新生活

新生活運動に就ては個人、地域、国家といろ〳〵の立場から、いろいろに考えられますが、結局は新しい時代に合った家庭生活を作る事が根本であると存じます。その点我々は現在の生活が合理的であるかどうかをよく反省する必要があります。

三千五百年前殷(中国)の湯王は洗面器に「日に新たに日日に新たに、また日に新たなり」と銘を彫っておいて毎朝顔を洗う時に之を眺めては生活を改め、国を治める事を心がけた。それで非常によく治まったといゝます。

いざ新生活を行おうというには、目のつけ処はなるべく高く、手のつけ処はなるべく低い事が大切で、極めて低い平凡な処からやって行く。そのかわり気永に必ず実行して行く気持がなくてはなりません。

私の属している報徳会の仲間では、ごくやり易い事、例えば銭湯へ行っても玉杓を使ったら次に使う人の為に湯を入れてグルグルッと洗ってから伏せておく事一つを実行しようと提議する。

「俺はやれない」と言う人が一人でもあると決めない。みんなが賛成でもそこで決議はしない。まずみんな一カ月はやって見る。之でいゝというところで決議する。こういう風にしてやっています。

新生活運動とはこういうもので、みんながやろうという気持が、そのもとになるものです。その成るか成らぬかは住民意識の昂揚如何によるのでその為にも社会教育と切り離す事はできません。

(続く)

戦後とは言え、すでに十二年を経た青年団も、時代の推移と共に現状にあきたらず、常に新しき何物かを求めて脱皮に脱皮を重ねて来た。

たゆまず歩んで来た足跡をふり返り、そこにぶつかる問題を一つ〳〵丹念にとり上げ、お互に話合い指導者の助言を求めて来たのである。

去る十五日の研究会に集まった男子三〇、女子二〇の各部落の幹部達もそれ〴〵何かのヒントを得た事と思う。以下日程順にその経過をまとめてみよう。

講師に県社会教育課の猪股先生を迎え、午前中は各単位団の活動報告、われ〳〵はこの一年間をどこに目標をおき、どの点を改めて来たか省みてその成果は、又ぶつかった問題は……等ホラ吹きではなくて、赤裸々なる事実を発表する時間であった。

午后は講師の話、午前の報告に対する評価をかねて、現在の青年団のあり方を話される。それを過去の青年団との比較を図で示して、わかり易く説明された。

結論的には、青年団はお互いに何んでも言い合えるような気易い空気を作らねばならぬ。即ち仲間を作る事だ。そして誰でもが考えられる事、考えている共通の問題より始める。之は自ら生活の問題となってくる生活と結びついた活動だ。

農村の青年団であったらまず第一に百姓の仕事の事、生活の事、之だけ見ただけでも多くの不合理があるのに気付く。生活に目をそむけた青年団活動は無意味だと言えよう。

さて、講師の話も一時間で止め、録音テープを聴く。「農村になぜ嫁が来たがらないか」に就ての農家の意見、最後に評論家 浪江氏の話、次の四つを中心にして農村の実情を解剖する。即ち

(一)男性の心構えに就て
(二)経営の合理化に就て
(三)家庭の民主化に就て
(四)女性の心構えに就て

一時間の質疑応答の後、白根中学校の保倉先生の指導で、全員フォークダンスを楽しんで研究会の幕をとじた。

最後にこの研究会に就て感じた点を述べてお互いに反省してみたい。

午前の活動報告に感じた事は、余りにも活動の差が開きすぎている事だ。卒直に言えば大半の青年団が十年一日の如き悠長な歩みをしているのである。本当に「これだ」という切実な問題を挙げるに至らぬ報告でわかる。(それは問題点などないからと言う人もあろうがつまり問題意識がないのである)

しかし、この研究会を開いた意義は大きく、参集の人々に多大の示唆を与えたのではないかと思う。その一つとして大ていの青年団は現状を何とかよくして行きたいとは思っていても、さて何をやるかになると足踏みをしてしまうのではないかつまり何から手をつけてゆくかと言う具体的なものが見つからないところに、この点われ〳〵の足もとには多くの問題がばらまかれている事に改めて目を見張ったと思う。

青年団は、もはや観念論やお題目だけでは会員に益々飽きられ、脅かれてしまうのではないか。口先だけでなく、勇敢に生活の中へとび込んで行く時であろう。

この会を終って、われ〳〵の最も期待されるのは、この日を転機として眠れる老青年をよそに、年少の青年達が、自分達の青年団の不満をよくカミシメて奮起する事である。そして来年度の研究会にどんな切実な報告がとび出すかを——

横川に郷土資料発見される

今回、長沢信司方で伝覆の掃除をしたところ、親からも聞き伝えのない系図書並に古文書が発見され、話題をにぎわしている。

系図書に依ると同家は横川中興名主名沢宗右エ門の同一系統で、三百年以上の旧家である事が解かると共に、名主が享保年間、荻川村へ転村の際遺されたと思われる「秋田少将姫休息所」と書いた珍らしい看板や、会津戦争の際、官軍に食糧の事、生活の事、之だけでも多くの不合理があるのに気付く。

農村の青年団であった

季節の料理

ミート・カレー　サンドイッチ

長持ちする為に、旅行などにも向き、誰にでも喜ばれる美味しいサンドイッチです。

材料(十二個分)

パンの柔い出来たてのもの二斤半弱、豚の挽肉五〇匁、玉葱中一個、バター大匙山盛り一杯、食塩茶匙一杯、メリケン粉大匙軽山一杯、味の素茶匙三分の一杯。

○作り方

フライ鍋にバターを溶き、こまかく切った玉葱を色つくまで炒め挽肉を加えて一諸に炒め カレー粉、食塩、味の素で調味し、最後にメリケン粉をパラ〳〵と加えて、水分を吸收させると共に、つなぎとする。

パンは耳をおとして一糎厚みのものを作り中味を十二等分してパンにのせ、三角形のように二つに折り、熱くしたフライ鍋の中でへりを押えつけて、両面を折りめが堅くつき開かなくなるまで焼く。

之に甘酸っぱい清物類(花らっきょう)を添える。

× ×

雄鶏社版実用叢書の楽しいお弁当料理集より

女中

小向 作文グループ

町の人は賑やかに正月を迎え今日も若人は映画パチンコへと歩んでいる。その後姿をたゞぼつんと見送る俺…同じ若人でありながらヒニクなものである。

朝から夜おそくまでいやそれどころか夜明けまでも、冷たい水と一諸に生活をする。水がまだ暖かいと感じられるうちはよかったが、手先の感覚もすっかりしびれて、身体のあらゆる神経がどこかへ消えてゆくように思えてくると、もう手に物のふれているかいないか判断する気がなくなる。

外は人通りもなく外灯もみんな消え、たゞ俺の皿を洗う音だけが耳に響く。隣家のさまたげをしないようにと少しでも静かに仕事をする。

女中というものは、こんなにも辛いものであるのか—俺は他人の家でなく、親せきの家でありながらも、こんなに辛く思うのに——そんな時いっそう女中などやめて都会へ出て働こうか? いや、それはできない身なのである。春になれば家に帰り田畑へ出て働かねばならないのだと自問自答する有様である。

俺は思う、始めて町へ出て女中をしてみて町の生活にもなれてみると、町なんていやなものだ、それより新鮮な空気をすって、はつらつとして土に生きる事だ——と、喜びも又悲しみもそれが切りはなち難くつながっているのだ。

二市中蒲原郡社会教育振興大会

去月二十日、新津市公会堂で二市中蒲公民館協議会、婦人団体、青年団体主催のもとに「二市中蒲原社会教育振興大会」が催され、当町では公民館、婦人会、青年団の各関係者が出席された。

午前中は「社会教育関係団体は、どのようにして新生活運動を推進するか」の主題に就て第一部(公民館、社教委、教委)、第二部 婦人部会)、第三部(青年部会)の三部会に別れ活発な研究討議がなされ、新生活運動の推進の意気を遺憾なくはっきした。

午后は全国公民館連絡協議会長、龍野定一氏の「社会教育活動として新生活運動をどのようにとり上げるか」の主題に就て、八十四才の高令とも思われない元気いっぱいの青年のような熱弁をふるわれ、万場耳をそばだてゝ拝聴した。

「文化国家、文明国家をきづき上げる為の主題の運動は、社会教育によるところが多く、民衆自身が誰もがやっていける平凡なところから手をつけ、しかも理想は高く仲間の魂と魂の団結の力で根強く、その時代にかなった民主主義を実際に行っていくことにある。」と午后四時閉会となった。

人夫割当などの記録書がでた。

写真募集

公民館報に掲載する季節的風景
時事報道ものの投稿を願います

3月購入図書

現代
◇警察日記　伊藤永之介
◇楢山節考　深沢七郎
◇愚連隊　獅子文六
◇東京の女性　丹羽文雄
◇挽歌　原田康子

時代
◇金太郎待　一条明
◇草筏　外村繁
◇あばれ剣法　横倉辰次

ユーモア
◇花嫁、花婿候補　北町一郎

推理
◇闇がりの声　イーデン
◇男の首　黄色い犬　ジョルジュ
◇トレント最後の事件　E.Cベントレー
ホンヤク
◇白い砂漠　ジョン・イューヴァ
◇孤独のアリス　ターキントン

◇自伝　泥棒　ロマッケンジー

随筆
◇山の味、里の味　酒井佐和子
◇看板大関　尾崎士郎
◇吉田茂大磯清談　吉田健一
◇昭和怪物伝　大宅壮一

教養
◇ものの判断と考え方　島影盟
◇成功する型、しない型　実業之日本社
◇版画をつくる子供たち　太田耕土
◇私の卒業論文　編東京大学生新聞会
◇幸福と希望と人生　編 河盛好蔵
◇教師への母親の抗議

戦記
◇秘密戦　古谷多津夫

雑誌
◇文芸春秋　三月号　芥川賞発表
◇婦人朝日　三月号
◇相撲　〃　春場所相撲号
◇文芸春秋　別冊　三角地の人々
◇オール読物　四月号
◇野球界　三月号

珠算競技大会

盛会裡に終る

去る三月十七日、公民館に於て商工会、公民館主催で第五回珠算競技大会を開催、小中学生多数参加し妙技が展開された

○入賞者次の通り

四年
一等 岡崎律
二等 塩野修
三等 嶋倉紀之

五年
一等 井上温子
〃 長井久子
二等 押見秀男
〃 渡辺勇夫

六年
一等 笠原栄子
二等 砂井美知子
三等 小柳健三

○中、高校の部
一等 山田美子 二年
二等 須藤幸子 〃
三等 五十嵐光江 一年
四等 須藤高義 高校
〃 川口国男 一年

へらず口……にくまれ口……

新保　柿右エ門

一時、大分さわがれた町村合併の問題も、おらが町に関してはどうやら大船に乗りおくれた感じだ。

併しまあそれもよいだろう。小さいながらも独立町村として、人並みにやって行ければ之に越したためでたい事はないわけだから。

ところで本当か嘘か知らないけれども、町村合併しなかったばっかりに国からの地方交付税が百万円余もへらされて、その穴うめに学校や役場や公民館などの経費を一割以上も倹約させられるという噂だが、こりゃ一体どうしたもんだ。

本当だとしたら町にとって大問題じゃあるまいか。今年はまあ我慢するとしても、来年は一体どうなるんだ…サ来年は…年々へらされる地方交付税の分だけ、町予算もへらしてゆけば問題もないみたいだが、それじゃ町の事業が成立つまい。おまけに県立病院だの、矢代田校の増改築だのと金のかゝる仕事が次から次へと待っている。全く人ごとじゃなく、おらが身に直接ふりかゝってくる問題だけに、気が気でない。

町長さんや、議員さん方や、一体どうなるんだか、いやさ何うするんだか正味のところを聞かせてもらいたいもんだ。

× ×

早いもんで新制中学校も創立十周年になるそうだ。出張PTAで校長さんのお話によると、推進委員会やPTAの方で盛々記念事業を進めておられるそうで誠に結構な事だ。特に感心したのは町出身の県外県内の成功者や、卒業生からどん〳〵寄附金が集まって、中には一人で一八万円の映写機を寄附された人もあるとか本当に有難い事だ。

もう一つ気に入った事は、記念式とか祝賀会とかの飲み食いなどには、せい一っぱい金をかけないで、生徒の為の校内設備に重点をおかれるという事だ。是非そうやってもらいたい。公(おゝやけ)の金を飲み食いに使うほど無駄な事はないのだからそれにつけても気がかりの事が一つ二つある。

新小学校側から見た中学校舎のみばの悪くなった事はどうだ。建ってから八年の雨風にさらされぼろ〳〵という感じだ。「一文惜しみの百しらず」という事があるが、今の中にパンキでも塗らないと後で大変な事になるんじゃあるまいか。之こそ十周年記念に町当局で何とかならんもんかね。

もう一つは記念設備が前のミシンでも、今度の映写機でも、校内放送設備でも当然町の費用でやらにあならないものばかりだ。町が貧乏だから仕方がないと言えばそれまでだが、心配なのは放っておけば学校やPTAがけっこと何かに名目をつけて、寄附金を集めてやってくれると当局が安易な気持になりはしまいかという事だ。小学校や定校にも関係ある事だし、今後の問題として当局も学校側も十分考えて欲しいもんだね。

成人の日に想う

牧野　広司

昭和三十二年一月十五日、この日は我々成人式に参加した者にとって、一生のうち最大なる記念すべき日ではないだろうか。待ちに待っていた成人、大人として之からの行動や生活が認められると同時に、又それ以上に各自の行動及び生活態度に責任を持たねばならないと私は想う。

今まではたとえ軌道をそれた事をしても「まだ若いから」「一人前でないから」と大目にみて事をすませてもらってきても、之からはそうはゆかない。選挙権を有し法的にも大人としての資格が認められたのだ。

たとえ今まで不眞面目に生活して来た人も過去を一切忘れ、この成人の日を機会に、人間として、一社会人としての面目にはじない生活態度で強い信念を持って社会の為、国家の為に働かねばならないと私は想う。

世代をにのう者は我々なのだ。より平和な社会より住みよい社会に皆で力を合せて努力しようではないか。

新保分館だより

新保分館第三回剣道大会

有段者の部

一等　一本館清策（新保）
二等　鶴巻藤一（南玄）
三等　簑和喜一（新保）

無段者の部

一等　渡辺仙一（南玄）
二等　大貫俊英（新保）
三等　風間源一（〃）

第二回卓球大会

去月二十四日新保分館で開催入賞者次の通り。

男子　一般の部
一等　川瀬登
二等　古田利男
三等　吉井文夫

女子
一等　高山広美
二等　簑和ナナイ
三等　川瀬年子

中学生の部
一等　川瀬信雄
二等　吉井信栄
三等　丸山俊英

成人式記念預金 2.182.600円

一月十五日午前十時、小須戸小学校に於て成人式が盛大に挙行された。本年の成人該当者は男女計二一二人で、町長の式辞に続いて村山県議を始め来賓各位の祝辞があり、金壱百円の記念貯金通帳が贈呈されて之ら若人の門出を祝した。

尚併て成人貯金を続継して多額の預金をせられた次の優秀者に夫々金一封を贈り表彰した。

表彰者は次の通り

中山愛子　近藤朋子　高山妹子　村山美智子　村井鈴子

尚本年も三回目の感謝状が、長野郵政局長から授与された。

二八年から続継された記念貯金の預入現況は総額二、一八二、六〇〇円に達し、輝かしい実績をあげ今後も大きな期待がもたれている。

第六回 幻灯コンクール

三月二日、横水分館に於て第六回幻灯コンクールを開催、各四分館ベストメンバーの登場、会場一ぱいの観覧者の中で、それ〴〵選定したスライドを映写、雌雄を決した。

第一位　孝女白菊　横水分館
第二位　灰燼(前)　小須戸分館
第三位　塩原多助　新保分館
第三位　滝の白糸　矢代田分館

なお各分館毎に審査員より講評があったが、全般的に次のようであった。

解説

●出演女性が男性を引ばっていった様子だった

●解説が単調であった

●駒と駒との合間の取り方の工夫

●登場人物の声を今一歩考えて

●解説者の姿勢、場所の研究

音楽効果

●よく選定されて効果を出しておったが、ボリームが単調すぎた

操作

●良く操作されたが、巻取りスピードを駒によって速さを工夫する

●巻取りの時、駒が正しく枠内に納めるように

○各分館とも練習される時に幻灯機、電蓄、レコード等限られた数で充分効果を上げられ得なかったと思うが、今後充分その点留意してゆきたい。

県下版画展入選作品　中三　鶴巻信衛

図書室より 皆様にお願い!!

貸出し始め四月八日

昭和二十七年五月、公民館が独立発足と共に熟意ある人によって、つくられた小須戸町読書クラブは、会費で買った今迄の図書を全部公民館図書として寄贈されました。

それ以来、図書の分類は小須戸町の将来の事やお世話下さる委員の方々を煩わす事などを考えて誰でもすぐ分類出来る平易な分類方法をと、色々考えて編みだしたのが、今まで使っていた分類方法でした。

しかし、めまぐるしく進歩していく世相を考えた時、小須戸町独自の分類方法は不都合な点も見え出されるので、この際思いきって全国公共図書館共通な十進分類法でやる事に委員の意見の一致があったので、去る三月二日午后七時より、新潟県立図書館長のおいでを願い十進分類法の指導を願いました。

今その分類中で四月が年度の切りかえでもあり三月中に委員総動員で全部整理する予定です。

そこで三月二十三日迄に借出されている図書は全部お返し願います。

借出し初めは四月八日で、昨年通り会費は月二十円、学生は十円で借出されます。

県下版画展入選作品　中三　青木達夫

インフルエンザに注意しましょう

インフルエンザは人の混み合う所を好みます。流行期には出来るだけ映画、芝居、集会等、人の混み合う所はさけ、特にインフルエンザにかゝっている人が無理を押したり、治りかゝってもういゝだろうと、つい誘われるまゝに人ごみに出る事は、自分自身にも悪いがそれだけでなく菌を人ごみの中へまきちらしに行くようなもので、人にも迷惑を及ぼします。

バスの中、集会場等の人の集まる所ではマスクをしましょう。集会場等人のこみ合う場所の換気に気を付けましょう。

家庭でも時々戸障子をあけて空気を清潔にしましょう。外出から帰った時、夜寝る時、朝おきた時などは「うがい」を励行しましょう。ウガイは水道水そのまゝでも結構ですが、食塩水(二%)、硼酸水(二%)ならなお結構です。

睡眠不足、疲労はインフルエンザの好餌です。よく眠り、よく休養をとり栄養にも気を付け、夜ふかし、過労はつゝしみましょう。

◎症状

さむけ、頭痛、せき等を伴い熱が出ます。同時にはきけ、嘔吐、くしゃみ、鼻汁、鼻血、腰や関節痛、筋肉痛、胸痛を伴うものがあり、熱は三十七度台の事もあるが、多くは三十八度から三十九度以上にも達し頭痛せき、鼻汁などの為に睡眠がさまたげられたり又は鼻血や腹痛、下痢を来す事もあり食慾も一般に悪くなります。

安静を保ち余病がおこらなければ三日から五日位で熱が下り快方に向うが、インフルエンザにかゝったら休む事が第一で、薬を使いながら無理をすると病気をこじらせる

②早くお医者さんに見てもらう

③熱が下っても二〜三日は静養しないと、ぶりかえしたり余病をおこす恐れがある

④せき、くしゃみ、鼻汁の出る間はなるべく外出をさけ、やむを得ず出る時には清潔なマスクをかけよう

⑤鼻汁や「たん」は紙にとり焼き捨てる

○小須戸町中小学校欠席状況

	中学校	小須戸小学校	矢代田小学校
9日	3.9%	1.7%	2.6%
10	4.9	2.0	10.3
11	6.1	2.1	16.0
12	8.0	3.8	14.0
16	17.5	8.8	10.0
21	10.5	13.5	4.9
22	8.5	13.0	
23	7.6	10.0	
24	6.7	10.6	
25	6.6	10.5	
		7.8	

会〜員〜募〜集

女子(踊)若干名

締切…4月15日

申込み…公民館か会員宅

小須戸民謡保存会

町民囲碁将棋大会 戦績

第十七回町民囲碁将棋大会を去る二月二十四日公民館で開催された。

四十名余りの同好者が集まり、大会一日をなごやかに終った。

入賞者次の通り

◎囲碁の部

一等　山口新松
二等　小川孝雄
三等　坂井充二
四等　須藤平作
五等　須藤高義

◎将棋の部

一等　渡辺平七
二等　中村恭平
三等　高野松一
四等　川瀬六三郎

小須戸地名考 (三)

柏大治

小向

此の部落の諏訪神社境内にあった神木欅の木は戦時中に伐採されたが、年輪実に壱千年以上を数える事ができ、それと同等の巨木が数本あり、彌彦山上から蒲原平野をのぞむ時、小向の大欅が目標になった位いだ。

今考えると天然記念物として文化財になる価値が充分あると非常に残念に思うが、此の神木は神社の維持費に当てる為に競争入札が行われ、吉田久衛氏が落札された。

諏訪社は元禄十四年現地に移転されたものだが之らの巨木が原始林でなく、むしろ人意的に植えられた形成がある点から部落の成立は少くとも壱千年以上を経た古村である事が想像できる。

私は当時隣村の横川とか小向とかの区別的なものでなく横川、小向は同一地区として開発されていた横河間と呼称されていたと思うのである。

いかにも結論をいそいだようであるが、本筋の地名を考証すると、小向は自主的に名付けられた名称でなく、他意的に名付けられた名称で、即ち他の人から名付けられた分家存在的な地名のように解釈するのが妥当であるが、之にはかなり疑義をはさむのである。

矢代田、天ケ沢、鎌倉方面から観察して小向と名付けたのか、横川から見て小向と称したのか、川向いからのぞんで小向なのか、恐らく開発の浅い対岸部落より名付けられる筋合の名称ではなさそうだ。横川部落からでは地理的条件からして一層不自然である。

小向の地名は私は何となく新津の生立と同じく古津があり、新しくできた津であるからと古津と対照して新津と称したものでなく、金津氏(先祖平賀氏城跡　現堀出神社)の分家の新津信賓が、新津山谷に屋長三年まで居城したが、古くは新津の本名は山谷町と呼称されており、新津信賓居城後より姓氏を以て新津と改称された例の如く、小向も他称的地名でなく姓氏的な地名でなかろうか。

往昔は横川、小向の地理的分別なく横河間或は河間郷と称し、開発発展してきたものと思われるが、護摩堂山上に戦略拠点として築城され、武将相次ぎ居城するに及び、此の地域一帯は中世信濃川に拠る戦略物資の集積地として、護摩堂城と重要な関係が生じ繁栄した形跡がある。殊に大字名に大臈町(月が付くのが本当だ)中蔵、堂上越等の地名は何か暗示するものがあり、後述するとして研究家には之らの地名を見逃す訳には行かない。

ここに特筆したいのは小向に屋長から元和にかけ、中々気骨隆々たる為政者小向半三郎なる人物が居住していた事を重視したい。喧嘩好きで田上村を訴え裁判沙汰をしたり、水田村を相手取ったり、時の新発田公の役人を閉口させたり我が事のように村の為に尽力した権力者なんのそのといった気概は中々ただ者ではなさそうだ。小向村の半三郎かと思ったが文献を調査するに、小向を以て立派に姓氏としている事実から余程由諸ある家柄と思われる。従って中世小向が戦略物資の集積地で、護摩堂城から小向と名乗る武将が居住して此の部落を支配下に治めたか、又は豪族で小向姓を称したか、とにかく相当な権勢家があり、その人の姓を取って横川から独立して小向村と称したのではなかろうか。

参考として自説を提供して置きたい。小向村は文禄検地帳には弐百参拾四石八斗五升、水田村と小向村と見えているから小向村の独立は相当古い年代で、室町初期頃からではなかろうか。(続く)